

ご挨拶

副理事長 中西 康二

私が呉青年会議所に入会したころは90名近い人数で活動をしていましたが本年度は50名弱でのスタートを切ることになりました。

私が入会した11年前からは社会情勢も変化し中々昔のように青年会議所活動をするのが難しくなっているのかもしれない。

しかしわがまち呉には様々な企業があり志を高く持っている青年も多数いるはずです。人数が多ければいいというわけではありませんがやはり少ない人数より多くの人数で活動した方がよりインパクトがあり内容の充実した事業が行えると思います。

例年会員拡大には力を入れていますが、より本年度は現役会員一人ひとりが危機感を持ち本気で会員拡大に力を入れていただけるようなシステムを構築し会員拡大を行っていきます。また近年若者がまちから離れわがまち呉も高齢化の問題を抱えています。なぜ故郷を離れるのか？雇用の問題、教育の問題、問題は様々あると思います。ではなぜ我々はこのまちにとどまり生活をしているのか？理由は人それぞれ違うと思いますが私の理由はやはり呉のまちが好きだからです。子どものころに遊んだ自然豊かなこのまちが好きだからです。

私は子どもの頃に野山で遊んだ記憶が鮮明に残っています。やはり子どもの頃の思い出は大人になった今も忘れることなく育ててくれたこのまちに恩返しをしたいと思っています。私が感じたような気持ちを今呉に住む子どもたちにもってもらえることが出来れば、将来彼らが大きくなった時にきっとこの呉のまちのことを考え行動をしてくれることと思います。

未来の呉青年会議所のメンバーを育てるとともにまさに今一緒に活動をしてくれる同志も集め私を育ててくれた呉のまちと呉青年会議所に恩返しをすることで私の最後の青年会議所活動の締めくくりとさせていただきたいと思います。最後の1年間となりますが、どうぞよろしくお願いいたします。